



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 25 No.2499

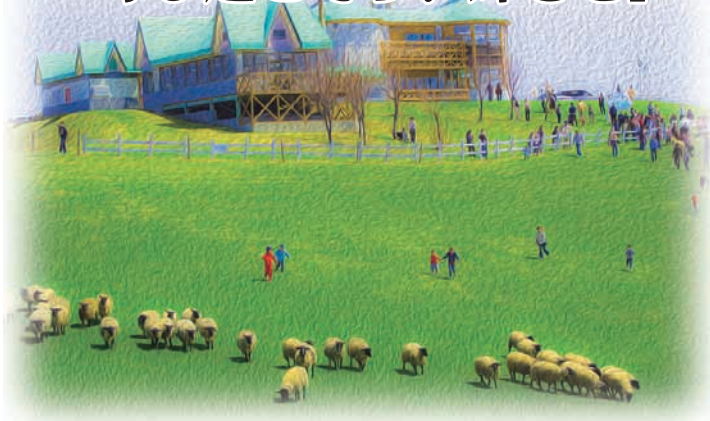
2014～2015年度 国際ロータリーテーマ



2014～2015年度RI会長 ゲイリーC. K. ホアン

2014～2015年度士別ロータリーのスローガン

「呼び起こそう、輝きを」



- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所／士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234
- 会長／宮崎隆雄 ■副会長／北村浩史
- 幹事／坂口芳一

今日のプログラム **第2580回例会 2015年2月23日(月)...**〈夜間例会〉

■2月16日の記録■ 普通例会

- 司会 佐藤元信 会場監督
- 斉唱 奉仕の理想業
- 本日の出席 会員45名中 出席者35名 出席率77.77%
- 本日の欠席 相山佳則、今井裕、加藤博、黒田康敬、國森和磨、近藤峯世、菊地仁、奈良康弘、深尾幸夫、松塚信雄
- メイクアップ
- ゲスト
- ニコニコBOX

累計254,000円

例会予定

■3月の予定……《識字率向上月間》

- 3月2日(月)／例会・理事会
- 3月9日(月)／例会
- 3月16日(月)／例会
- 3月23日(月)／夜間例会
- 3月30日(月)／特別休会

■4月の予定……《ロータリー雑誌月間》

- 4月6日(月)／例会・理事会
- 4月13日(月)／例会
- 4月20日(月)／夜間例会
- 4月27日(月)／早朝例会

■会務報告宮崎隆雄会長

●2月11日の建国記念日を迎えたにあたり、国際ビジネスマン上田和男氏の記事をご紹介します。「もったいない」という語の概念は、世界の、どの言語にも該当語がなく、翻訳不可能だとされ、世界中の350言語をも超える外来語を借用し、50万語強も収録するオックスフォード英語辞典にさえも、載っていなかったのが、ケニアの環境担当大臣だったマータイ女史が国連演説で、この日本語を環境保全の合言葉として取り上げたのは、数年前のことでした。今や「モッタイナイ」は、レデュース(縮小)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源)、リペアー(修理)の4R(四つの言葉)を一語で表す「自然やモノに対する敬意と愛の意思を込めた素晴らしい日本人の言葉」として世界語となったのです。

同じように外国語に訳せない伝統的価値観に根ざす和語に「いただきます」があります。ビジネスの場で、この言葉について、動植物や自然界の全ての恵みである“食材の命を頂きます”という八百万の神に捧げる感謝の言葉からなっていることを説明しますと、他国の人は敬意と羨望の念を表してくれます。万物に神霊が宿るといふ神道の源流は、縄文人やそれ以前の旧石器時代の原始日本人による大自然との調和の精神にまで遡ります。このように日本語には伝統的語彙が多く残存しており、「日本国語大辞典」には、英語と並ぶ50万項目以上の語彙が収録されています。英語の場合、他言語の借用が多いので、日本語こそ、自前の語彙を大量に持つ“世界最大の言語”だといえましょう。

日本は現存する唯一の古代国家であり、しかも有史で見ても、大和朝廷から1800年、律令制が確立し国号の「日本」を称してから1300年と世界最古の国家です。2番目に古い国がゴム王朝から1100年のデンマーク、3番目はノルマン朝から950年の英国だということは、あまり知られていませんが史実です。世界の歴史が王朝の交代史であり、ローマ帝国をはじめ、ほとんどの国が滅亡と改変を繰り返してきた中で、2000年近く現存する王朝が続く日本は、人類史上の奇跡ともいえそうです。わずか230年余と歴史の浅い米国が独立記念日を、220年余の仏が革命記念日を、建国60余年の中国が国慶節を祝い建国記念日が、日本では2月11日であることをもっと意識すべきかと思われます。

先に見たように、文字のない時代に成立したわ

が国であり、国家の定義が定まらない時代の古代日本建国には、「七五三論争」があり、3世紀畿内の邪馬台国、5世紀の大和朝廷の列島統一、それと7世紀の律令体制成立と国号「日本」を遣唐使が確認したときとする「3論」あるようですが、遅くとも聖徳太子の604年、理想の国家像を示した十七条憲法制定と607年遣隋使の国書で対等外交を宣言したころには、日本の完全なる独立が完成していたと考えられます。この7世紀初めの政治外交史に目をやり、日本人たる誇りを持ち、国際化に臨みたいものです。

■幹事報告坂口芳一幹事

- 2月9日にゲストでお迎えして卓話を戴きました消費生活相談員の野村裕子様から、土別地区消費者被害防止ネットワークへの登録の依頼が来しております。皆様にはお配りしておりますので宜しくお願い致します。
- 2月23日(月)の夜間例会、移動例会の日程と内容を皆様にお配りしておりますので、間違えのない様に宜しくお願い致します。
- 中頓別で開催されるIMの日程が変更になりましたということで、連絡頂きましたのでご報告申し上げます。6月13日から6月20日(土)に変更になりましたのでご報告致します。

■委員会報告

●プログラム委員会谷 温恵委員長

23日の夜間例会はロータリー創立記念日であります。この日は会長経験のあります織戸会員がロータリーの絆についてお話を下さいます。また3月2日は土別市地域包括支援センター所長であります米谷ゆう子様がゲスト卓話としてお越し頂けることとなっておりますので宜しくお願い致します。その他3月24日の土別ロータリークラブの創立記念日に向けて様々な学びを深めていきたいと思っております。

■次年度報告近井孝義次年度幹事

- 先週2月10日(火)第1回年次役員会を開催、終了致しました。出席役員の皆様ご苦勞様でございました。本日役員・理事の皆様にご案内致しましたが、2月27日(金)18時より第1回理事会を開催致します。出席のほう23日迄にFAXか私の方に連絡を頂きたいと思致します。
- 社会福祉法人土別社会福祉協議会より評議員の推薦の依頼が来ておりました。当クラブからは次年度社会奉仕委員長である深尾会員を推薦致しましたので報告致します。

■ポールハリスフェローとマルチプル・ポールハリスフェローの授与



伊藤優市会員、山口哲雄会員の2名が認証の証書を谷温恵会員、阿達勇会員、渡辺正一会員がバッチを戴きました。

■本日のプログラム……谷 温恵プログラム委員長

本日の会員卓話は世界理解月間にちなみまして鈴木 勉国際奉仕委員長にお話を頂きます。宜しくお願い致します。

■会員卓話……鈴木 勉国際奉仕委員長

国際奉仕にちなみ姉妹提携都市ゴールバーン市のお話をさせていただきます。ゴールバーン市の概要についてご説明を申し上げますと、オーストラリアのニューサウスウェールズ州シドニーの南西200km、オーストラリアのキャンベラから北東約100kmの位置にあり、2006年当時の人口が約20,000超です。私も行って参りましたがゴールバーン市の主なる産業は、世界中に輸出されている羊毛の農業経営が地域経済の中核を担っており、その他に織物、食肉工場等もあり製造業の街であります。2004年ゴールバーンとマルワリーが合併致しまして当時で人口28,349人、市長の選出の仕方につきましては議員の互選により決められるという取り決めがございます。オーストラリアでは最初の内陸都市である、併せて現在の古い建物が存在しておりまして、ブルース音楽祭やバラ展覧会、地元は元より海外の観光客が見えております。当市との関連につきましては、サフォーク研究会が「サフォークランド士別」との確立を目指し、観光牧場の運営や飼育、さらに羊肉料理についての研究のため、平成6年2月、平成7年2月の2回にわたりオーストラリア・ゴールバーン市を訪問しております。この訪問を契機と



して、平成8年8月、士別市で開かれた「サフォークフェスティバル」にゴールバーン市から当時のマーガレット市長ら8名が来市しております。平成9年5月には当時の市長であります檜木市長をはじめとする友好親善訪問団8名がゴールバーン市を訪問し、両市における友好親善交流の合意を交わしております。さらに、平成11年7月、士別市の開基100年に合わせてマーガレット市長ら8名が再度士別を訪れ、「姉妹都市提携」を締結しました。その後の交流につきましては親善訪問又は市民訪問団・高校生の短期留学など人的交流を行っております。交流の中心的事業として位置づけられている「高校生短期留学研修」は、平成14年に士別青年会議所が創立45周年事業として、市内の5名の高校生を派遣したのが始まりでございます。当初は両市が高校生を1年おきに派遣しあい、ホームステイや学校体験など異文化に触れることによって貴重な機会を持って頂くというで行われております。その後2回目、平成16年以降も士別国際交流協会が主催となってこの事業を今日まで進めております。ゴールバーン市から高校生を受け入れる際にも、ホストファミリーの募集・歓迎レセプションの開催など先頭に立って活動して頂いているほか、札幌にありますオーストラリア領事を招いた国際交流講演会の開催、更にはゴールバーン市との小学生絵画交換事業なども進められており、この事業に際しては士別市も若干絡んでおり、人材育成・交流事業の補助制度によって一定の支援体制をとっております。

平成6年2月、士別サフォーク研究会の「オーストラリア・スタディー・ツアー」で10名の市民がゴールバーン市を訪問。これには本山会員が出席しております。平成7年2月、2回目の同ツアーで10名の市民がゴールバーン市を訪問。これには相山会員が出席しております。平成8年7月、マーガレット・オニール前ゴールバーン市長ら8名が士別市を訪問。平成9年5月、檜木市長ら8名が友好親善として携」を締結。これを記念して世界のめん羊館に「ゴールバーン市コーナー」を設置。平成12年5月、前市長の田莉子市長始めとする9名が友好親善訪問団としてゴールバーン市を訪問。短期交換留学制度等についての調査研究を行う。この訪問には山本榮さんが出席をされております。平成13年6月、4丁目プラザ「うるおいの交差点」姉妹都市コーナーを設置。ゴールバーン市・三好町との交流コーナーを設置しております。平成13年11月には、小学生絵画交換留学事業の実施、士別国際交流協会がスタートしております。平成14年7月、ゴールバーン海外交

流研修事業の実施として青年会議所45周年の記念事業と致しまして交換留学生6名がゴールバーン市に訪問されております。同年11月には小学生絵画交換交流事業で土別市から51点ゴールバーン市の小学校10校に展示されております。平成15年7月、マルワリー高校短期留学で当市に7名見えております。平成16年2月には、ゴールバーン市交流訪問団事業の実施として国際交流協会がゴールバーン市を訪問。平成11年1月、土別市農民交流訪問団研修事業として土別市の基幹産業である農業の中核的担い手がゴールバーン市を訪問し農業の視察、交流をされております。平成22年3月、土別市・ゴールバーン市姉妹都市提携10周年記念フォーラムの土別市で開催。主催は土別市・土別国際交流協会、61名の参加でございます。平成22年10月、牧野市長始めとする9名の方が姉妹都市提携10周年を記念してゴールバーン市を訪問、今後の交流の継続等の確認として伺う。これには泉谷会員、私が出席しております。平成23年7月、生涯学習情報センターの1階に「姉妹都市・友好都市コーナー展示ケース」の設置。平成25年3月、ゴールバーン生誕150周年記念式典に特使として田菰子前市長、千葉会員が訪問されております。平成26年7月、ジェフ・ケトル市長ら一行6名が姉妹都市提携15周年を記念して当市に見えており、今後の交流事業についての協議をしております。平成26年10月20日現在、土別市からゴールバーン・マルワリーに訪問されて総計は124名です。ゴールバーン・マルワリーから使節団含めて土別市に来市されたのは総計で54名の方が見えております。私が参加させて頂いた印象は向こうの方々というのは基本的にビジネスが優先であると理解をしております。土別で言えば交流館みたいなところがありまして、ゴールバーン市が毎年提携している契約書というのが飾ってあったんですが、残念ながら土別は1番下におかれていました。それだけビジネスを主体とする部分から考えると土別市にはあまり魅力感じていないと、特に留学生の交換ですとか精神面の交流を期待していたようですが向こうはビジネス優先ですと、聞かれましたのが私名刺に商工会議所の副会長をしているものですから私のところに来られて織物ですとかそういったものをビジネスとして扱って頂けないかというご相談がありましたけれども、残念ながら私にはそのノウハウがありませんでしたので力になることが出来なかったんですが、ただ1人奮闘していたのがマーガレット・オニールさんがなんと今後とも交流を続けたいと言っておりました。国際奉仕と言うことで姉妹都市でありますゴール

バーン・マルワリー市の概要を説明させて頂きました。